

※必ずご記入ください。

助成番号	D08-L
------	-------

年 月 日

トヨタ財団 2008年度地域社会プログラム

実施報告書

プロジェクト名				
プロジェクト・チーム名				
助成金額			0 0 0 0	円
フリガナ	生 年 月 日 ・ 年 齡			
プロジェクト・リーダー氏名	(印)	19	年 月 日	生 ・ 歳
フリガナ	生 年 月 日 ・ 年 齡			
連絡責任者氏名	(印)	19	年 月 日	生 ・ 歳
連絡先	(〒 -)	TEL 携帯 FAX E-mail		

財 団 使 用 欄

記入要領 3 頁目以降の各項目について、以下の要領にて記入してください。

※ 記入枠の大きさは変更しないでください。

※ 記入・印字（パソコンを使用の場合、フォントの大きさは 10.5 ポイントまたは 11 ポイント、行間 18 ポイント）は、黒字にてお願いします。表および図などを用いても構いません。

1. **プロジェクトの概要**（以下の点に言及しつつ、記入してください）

- ・ プロジェクトで取り組んだ課題について記入してください。その課題に注目した理由・経緯についても、対象地域において、①人びとの課題解決のニーズがどれほど大きなものであるか、②これまでに行政もしくは民間による課題解決の取り組みがどのようになされてきたか、などに触れながら説明してください。
- ・ プロジェクトで実施した活動の内容について記入してください。
- ・ プロジェクトから得られた結果について記入してください。

2. **プロジェクトの自己評価**

※ 本報告書における「自己評価」は、個別のプロジェクトの優劣を判断する材料等ではなく、今後の地域社会プログラムの企画・運営の参考となるものです。プロジェクトを振り返り、率直に記入してください。

(1) **実施内容について**

プロジェクトにおいて実施した活動のうち、よい効果をもたらした活動、さほどよい効果をもたらさなかった活動について、それぞれ原因などを分析し、記入してください。

(2) **成果について**

プロジェクトでは、当初の計画どおり、期待された成果は得られたでしょうか。また、プロジェクトの結果について、今後、地域社会における課題の解決に資するものとするために、さらにどのような取り組みを継続的に進めることが必要と考えられるでしょうか。なるべく具体的に記入してください。

(3) **課題設定と「仕組みづくり」について**

本助成では、地域社会における特定の課題（群）について、その解決に資する「仕組み」の形成に繋がる、持続的な作用・効果の強い、具体的な結果の産出をめざす試みとして、プロジェクトへの助成を行いました。プロジェクトの経験から、一般に、当該課題（群）の解決を図る場合、こうした「仕組みづくり」に取り組む難しさは、どのようなことにあると考えられるでしょうか。また、当該課題（群）を解決するために、最も大切なことは何でしょうか。そもそも、当該課題（群）に対して、「仕組みづくり」は、適切な解決の手法であると言えるでしょうか。

3. **その他**

その他、プロジェクトを振り返り、感想、コメント、当財団への報告・提言・要望など、自由に記入してください。

※必ずご記入ください。

助成番号

D08-L

1. プロジェクトの概要

※必ずご記入ください。

助成番号

D08-L

1. プロジェクトの概要（続き）

※必ずご記入ください。

助成番号

D08-L

2. プロジェクトの自己評価

(1) 実施内容について

※必ずご記入ください。

助成番号

D08-L

(2) 成果について

--

※必ずご記入ください。

助成番号

D08-L

(3) 課題設定と「仕組みづくり」について

※必ずご記入ください。

助成番号

D08-L

3. その他

--